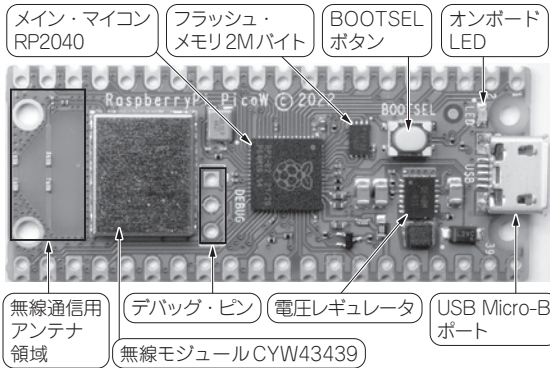


1200円で買える無線マイコン・ボード!
CとMicroPythonでLチカ&HTTPクライアントを試す

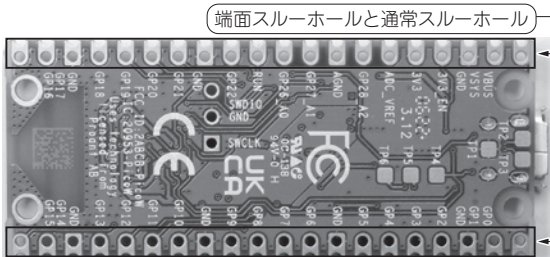
第3章

PicoのWi-Fi版「Pico W」

宮田 賢一



(a) 表



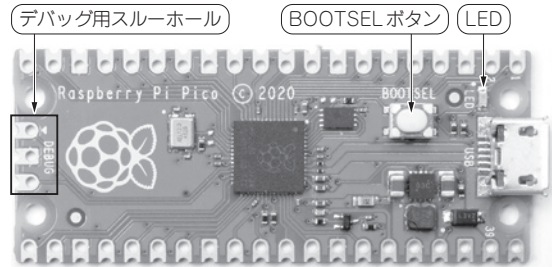
(b) 裏

写真1 Pico Wの構成部品

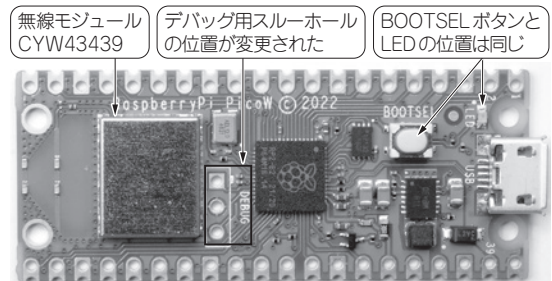
Wi-Fiに対応したラズベリー・パイ Pico W (以下、Pico W) が発売されました。技適の認証がなされていないため国内販売はまだですが、既に一部の通販サイトでは1200円程度で販売することが予告されています。本章では、先行して入手したPico Wで、何が新しくなったのかを紹介します。

なお、本章の一部にはPico Wの無線機能を実際に動作させて得られた実験結果が含まれています。この実験に先立ち、総務省の「技適未取得機器を用いた実験等の特例制度」^{注1}に基づいて、筆者が所有しているPico Wを短期間の実験を目的とした無線設備として届け出を行った上で、関連する法令を順守して運用していることを記しておきます。読者の方には以下の枠

注1: <https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/exp-sp/>



(a) Pico



(b) Pico W

写真2 PicoとPico W搭載部品の位置関係

内の注意を喚起するとともに、Pico Wを入手して日本国内で使用する場合には、現時点では読者自身による特例制度への届け出が必要となりますので十分に気を付けてください(関連記事: 314ページ)。

この無線設備は電波法に定める技術基準への適合が確認されておらず、法に定める特別な条件の下でのみ使用が認められています。この条件に違反して無線設備を使用することは、法に定める罰則その他の措置の対象となります。

ボード構成

● 部品配置

Pico Wの外観を写真1に、ラズベリー・パイ Pico (以下、Pico) とPico Wとの比較を写真2に示します。

表面にはこれまでのPicoと同じく、メイン・マイコンであるRP2040と2Mバイトのフラッシュ・メモ